

# 林道調査アプリ

- 災害対応を含む林道管理を支援するためのツールを林野庁で作成・公開（令和6年3月）。
- 線形のほか、待避所や土場、要改良箇所、被災箇所の位置や状況等の路網のポイント情報を現地調査で取得し記録。  
→線形の精査や改良等の対策の検討、点検・診断等に活用。

## <調査の流れ>

アプリで図面等を作成し、現地調査用の端末にデータを格納。



現地でGNSSによりログを取得しつつ、ポイント情報を観察し取得。

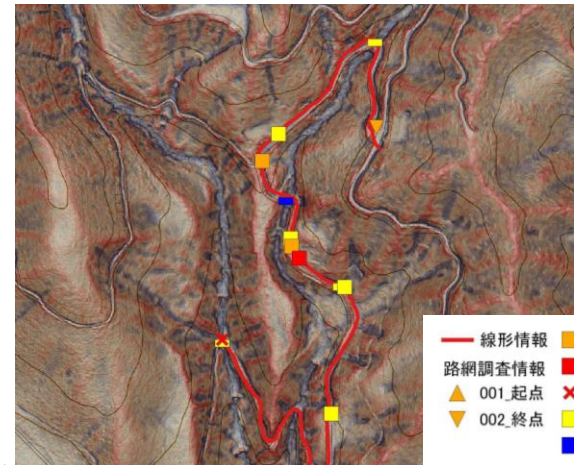


持ち帰ったデータにより、線形の精査とポイント情報の整理。

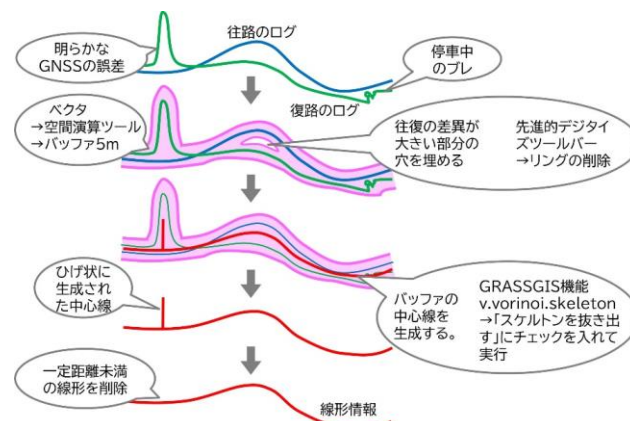


## ■活用事例（災害調査における活用：宮城県）

出先事務所において、アプリにより林道施設等のポイント情報を図面上で整理していたことで、大雨後の災害調査において既存施設の確認を漏れなく短時間で完了。また県は、作成したデータを林道管理者である女川町に情報共有し、アプリを導入した町では操作研修等を実施。



林道調査アプリで取得した路網データを用いた図面の例



林道調査アプリはGNSSのログに生じる誤差やブレをなめらかに調整して線形を生成する機能を有する

